People 補助輪パスして ラクショーライダー™ 超軽量 18インチ

専用 取扱説明書

取説201310

People 発売元 ピープル株式会社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-5モリビルディング
●商品のお問い合わせはお客様相談係まで TEL 03（3862）3739 ※電話受付時間：月～金（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00
FAX 03（3862）3730
●ピープルホームページ……http://www.people-kk.co.jp/

この度は「ラクショーライダー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「ラクショーライダー」には、別紙「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「ラクショーライダー専用取扱説明書」（本冊子）の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

1） セット内容 … 必ずご確認ください。

②ペダル×2 ③ペダル取付穴 保護キャップ×2

※ペダル取付穴にはめ込まれた状態で、梱包されています

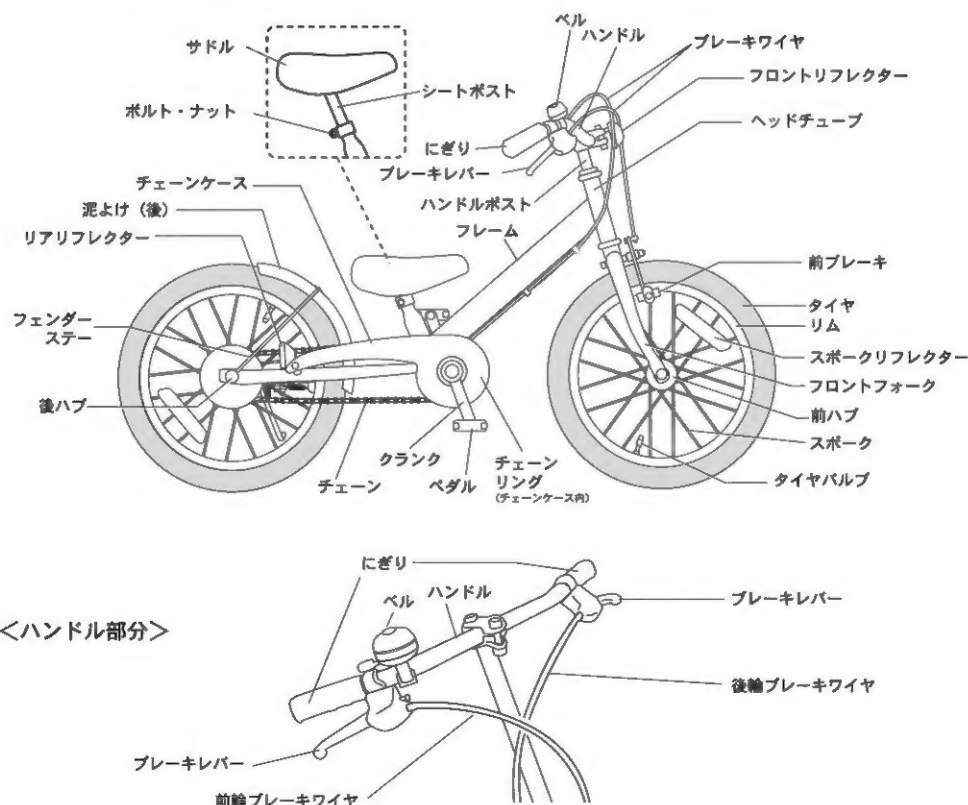
※ペダルは、自転車をこげるようになる日まで、大切に保管するようにしてください。
もし、紛失された場合、有償にて対応させて頂くことがありますので、ご注意ください。

④自転車共通取扱説明書

⑤ラクショーライダー専用取扱説明書（本冊子）

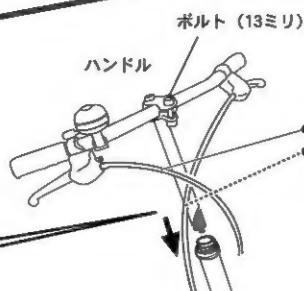
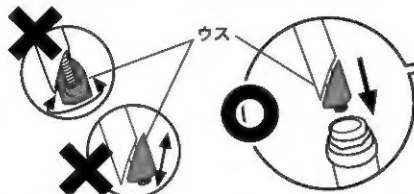
※お買い上げ店様によって組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません。(P2~P3 参照)
ホームセンター等でお求めください。

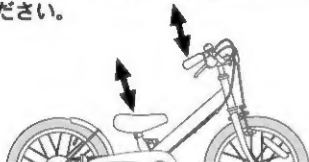
2） 各部のなまえ

＜ハンドル部分＞

3） 組み立て方法（お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります）

1 箱からとり出し梱包材をはずします。

2 ハンドルを差し込みます。
（固定は、サドルとハンドルの調整時にします）

注1）
ハンドルポストの先に付いている部品（ウス）を下の図のように正しい位置にして差し込んでください。

注2） 図のように、
前輪ブレーキワイヤが
後輪ブレーキワイヤの上に
交差するように取り付けます。

3 サドルを差し込み、自転車共通取扱説明書**P5～6の説明に従い、**体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。

4 バランスバイクモード完成

ペダルの無い状態でバランスをとる練習をしてください。

乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。

5 自転車モード

地面で足をけって自由にバランスがとれるようになったら自転車店でペダルを取り付け（有料の場合あり）、こぐ練習をしてください。

4） ラクショーライダー 特有の機能について

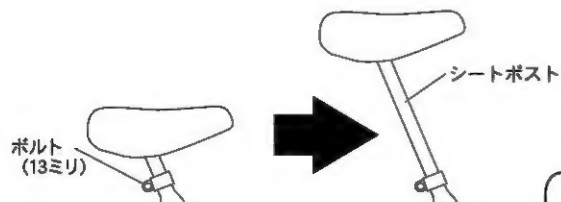
■サドル・ハンドルの調整■

このラクショーライダーは、4歳から9歳までお子様に快適に乗り続けていただくため、ハンドルとサドルに特別な調整が必要です。

※ハンドルの高さ調整については、「自転車共通取扱説明書」P6を参照してください。

サドルの高さ調整

●ペダルを外して「バランスバイクモード」で乗る時は、両足がピッタリと地面につき、ひざが曲がるくらいの低さに調整してください。

●ペダルを付けて「自転車モード」で乗る時は、両方の足先が確実に地面につくように調整してください。

適正身長	サドル地上高さ
約100cm（4歳）	約 52 cm
約132cm（9歳）	約 62 cm

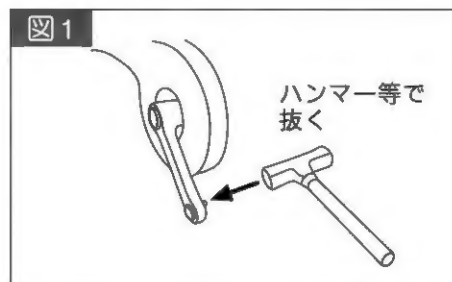
●シートポストは限界標識線が見える所で固定しないでください。（自転車共取扱説明書P2 参照）
●ボルトの固定が不十分だと危険です。しっかり固定してください。

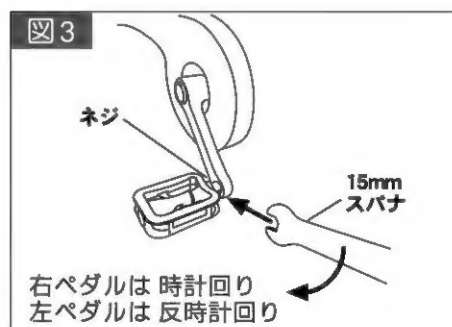
※サドルの固定方法については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

■ペダルの取り付け方■

ペダルの取り付けは、必ず自転車店でおこなってください。
作業費用が有料になる場合がございます。詳細は、販売店にご確認ください。

「ラクショーライダー」はペダルを付けずに、足で地面を蹴って運転することで自転車でのバランス感覚を先に身に付けることができます。
お子様が1人で十分にバランスが取れるようになったら、以下の方法で販売店にてペダルを取り付け、ペダルを「漕ぐ」練習をしてください。

① 図1を参考にペダル取付穴保護キャップを工具で外してください。

② 図2のように左右を合わせて、付属のペダルのネジ部分をクランクのネジ穴に差し込む。
※ペダルには予め「R(右)」「L(左)」を示す刻印があります。

③ ペダルのネジ部分を工具(15mmスパナ)で右ペダルは時計回り(右に回す)、左ペダルは反時計回り(左に回す)に回転させると、徐々にネジが締まっていきます。(図3)
※左ペダルは逆ネジですのでご注意ください。

④ もう入らないところまで、しっかりとネジを締めてください。

■ライトについて■

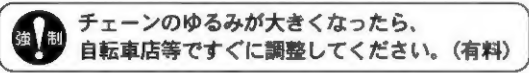
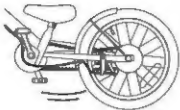
本商品にはライトが付属していないため、将来夜間及び暗い所を走行する時は、必ずライトを装備し、点灯するようにしてください。

※ライトは、ハンドルに取り付ける前照灯タイプのものをお買い求めください。
※形状によっては取り付けられないものもありますので、購入時に販売店にご相談ください。

5）乗る前の点検について

安全に乗って頂くために、乗車前に点検を実施してください。自転車共通取扱説明書P8~10の項目に加え、以下の項目の点検も必ず実施してください。

チェーンはゆるんでいませんか。

チェーンのゆるみが大きい状態でペダルを強く踏み込むと、チェーンが外れるなど危険があります。

チェーンのゆるみが大きくなったら、自転車店等ですぐに調整してください。（有料）

memo

6）長くご愛用いただくためのコツ

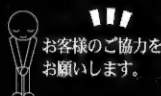
❶ 保管場所
長く、きれいに乗っていただくために

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。

錆び易い場所（雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・工事現場や金属加工場の近く）での保管はお止めください。

こんなことも錆びの原因になってしまいます。
- サイクルカバーをかけっぱなしにする。
- 焚き火の煙がかかる。
- ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。

直射日光の当たる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

❷ 簡単にできるメンテナンス
1ヶ月に一度程度することで、更に快適に、長くお使いいただけます。

●塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ
乾いた布でよく拭き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

●メッキ部（ハンドル・サドルポスト・スポーク等）のお手入れ
乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所（上記①保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気をとりよく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「6）お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。

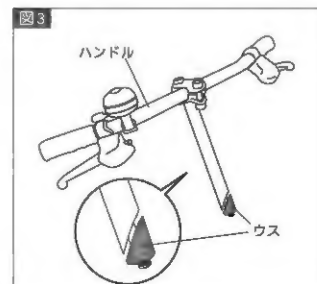
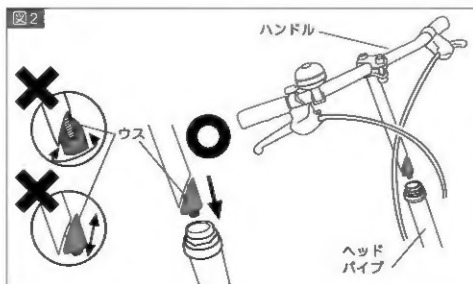
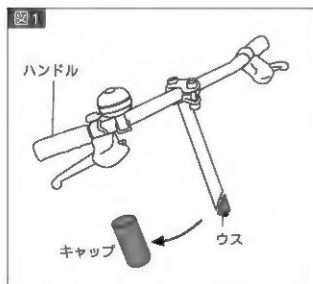
傷がつくと錆び易くなります。乾いた布で汚れをふき取り、「さび止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

❸ 重大な故障になる前の点検チェック

●ブレーキはきちんと作動しますか？
ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。
自転車共通取扱説明書の「ブレーキの調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

7）故障かな？と思ったら…トラブルシューティング

●組み立てについて

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **ハンドルをヘッドパイプに差し込めない**	ハンドルポスト先端の保護キャップは外しましたか？ 図1 ├ 保護キャップがついたままになっていた。 →		保護キャップを外してからヘッドパイプに差し込んでください
	└ 保護キャップは外した ↓ さらにチェック！ ウスは正しい位置にありますか？ 図2 →		ウスが正しい位置にないと組み立てられません。ラクショーライダー専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。
② **ハンドルを固定するネジを締めこんでも、ハンドルが固定できない**	ハンドルポストの先端にウスは付いていますか？ 図3 →	六角ボルトを緩めすぎて、ウスが車体内部に落ち込んでいる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドルポストに取り付けて、ラクショーライダー専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てを行ってください。

●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① **後輪から「キーキー」音がする。**	**ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。** 図4 ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	ラクショーライダー専用取扱説明書「3）組み立て方法」をもう一度良くお読みの上、再度ハンドルの組み立てを行ってください。
	ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	車体のブレーキワイヤは正常に配置されているか確認してください。 図5 ブレーキワイヤの配置が正常でない。→	図5のように車体を通るブレーキワイヤがたるんだ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなしになり、キーキー音が発生している可能性があります。	たるみをなくすよう ワイヤを整えてください。図6
	ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック！		
	お買い上げいただいた直後（一週間以内のご使用）ですか？ 一週間以内のご使用の場合。→	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間に、少しずつワイヤが伸びていきます（「初期伸び」と言われる全てのワイヤが持つ性質で、不良ではありません）。ブレーキワイヤはあらかじめ少しきつめに引っ張られた状態で製造されており、そのせいで常にブレーキが少しかかった状態になっている可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、ブレーキレバーを両手で強く、10回程度握ってください。 改善されない場合は下記のチェック項目へお進みください。
	お買い上げいただいて一週間以上使用の場合。 ↓ さらにチェック！		
	乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。 キーキー音がなくなった。→	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキがこすれ、音が発生することがあります。湿気がとれると解消されますので、乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	
	キーキー音がなくならない。→	→	お買い上げ店様にご相談ください。
② **前輪リムが黒く汚れている。**	→ 正常です。	前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを作動させる役割があるため、ご使用いただくと必ず黒く汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。 ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。	
③ **パンクかな？と思ったら。**	**「バルブ」のねじを確認してください。** 図7 バルブのねじが緩んでいる場合。→	緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、パンクではありません。	バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。
	バルブのねじが緩んでいない場合。 ↓ さらにチェック！		
	タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。 空気が抜けてしまう場合。→	チューブに穴があいてパンクしていると思われます。	お買い上げ店様にご相談ください。 （お客様の責任によるパンクの場合は有料になります。）